



一般質問..... P 2 ~ P 7
3月定例会から

町議会審議結果..... P 7 ~ P 9
3月定例会

予算審査特別委員会
審議結果..... P 10

一般質問その後..... P 11

委員会等の動き..... P 12 ~ P 14

政務調査活動報告..... P 15

議会傍聴アンケート
結果報告..... P 16

発行/上川町議会 編集/議会広報特別委員会



(山形県議会議員)



(町議会側と町行政側)

「山形県議会議員（県政クラブ）が行政視察に訪れました。」
(3月27日、議員控室)

一般質問

平成25年第1回町議会（定例1）の一般質問は、3月14日に行われ、4議員が町長等の考え方を問いました。

第9次上川町総合計画について

森本 議員



（森本恭弘議員）

わが町、上川町の将来の方向を導き出す羅針盤として上川町の将来を思い描いた計画・これが上川町総合計画というものと、私は認識しております。

この、計画については、以前もお話しした通り、私も策定委員として、第8次及び第9次計画策定の段階から関わっておりますので多少の流れについては理解をしているつもりでした。しかしながら、現在、私自身多くの町民の方の意見を行政に反映させていくという仕事をさせていたただく中でこの計画が、上川町にとって非常に重要な計画であるということ、再認識しているところです。

そこで町長の、平成25年度行政執行方針の中に、平成25年度予算編成にあたっては、地方財政計画を基調に財政健全化指標を堅持しつつ、上川町まちづくり基本条例の実践と第9次総合計画後期初年度として推進していくとあります。

この第9次総合計画は当初5年間を前期、平成25年からの5年間を展望計画とし、その展望計画の実施計画を平成24年に策定するとしてありましたが、現時点で、その実施計画はどのような状態になっているのでしょうか？

平成22年12月の定例議会において、沢田前議員の質問に対し町長は、「後期実施計画の策定にあたっては、社会情勢や住民ニーズの変化に対応する為、平成24年度早い段階から準備に入る」と説明されています。更に、その際の質問で、さまざま状況から総合計画に狂いが生じているとの指摘を受けていますが町長は、当初5年の前期計画についても毎年度計画の見直しを行い、事業効果を検討し、状況の変化に対応している」と答弁されています。

現在、消防層雲峡出張所の新庁舎を建設中



指摘を受けていますが町長は、当初5年の前期計画についても毎年度計画の見直しを行い、事業効果を検討し、状況の変化に対応している」と答弁されています。



（佐藤芳治町長）

上川町の将来の発展を展望し、長期的な視点に立った発展の方向と将来の目標を定め、それを実現していくための町政の指針となるもので、まちづくりを進めていくうえで最も上位に位置づけられる計画であります。

本計画はまちづくりの基本理念や、めざすべきまちの将来像などの目標を明らかにし、目標達成するため基本方針を示した「基本

構想」と、その実現に向けて施策を示した「基本計画」「実施計画」で構成されております。基本計画の計画期間は平成20年度から29年度までの10年間であります。

この状況、緊急度、財政状況、国・道の施策動向などを総合的に判断し策定されるものであります。

前期計画の検証に基づく事業実績につきましては、前期計画としては約92%の事業が実施済みであり、引き続き、小学校耐震化事業、層雲峡地区ブロードバンド化等が平成20年度からの国の経済対策による交付金活用等で完了してきたところであり、後期計画へ引き継がれます事業につきましては、防災対策

し作業は、昨年8月より各課におきまして計画内容の精査が行われ、内部ヒヤリング実施後、新たに後期計画として位置付けしてきております。

後期計画では中山間総合整備事業、消防救急デジタ含む新規追加事業を合わせて実施していく計画であり、今後も計画のローリング作業を毎年度行い、財政計画との調整を図りながら事業推進して参ります。

実施計画は基本計画で体系化した施策を具体的事業で示し、それぞれの実施年度、事業量、事業主体、財源の内容などを明らかにするものであります。

各年度の予算編成の指針となるものであり、後期計画へ引き継がれます事業につきましては、防災対策

による公共施設の耐震化等として社会福祉センターや総合体育館改修事業などを後期計画におきまして実施して参ります。

また、前期計画では新たに追加された旭ヶ丘活性化計画関連事業等も継続事業として実施して参ります。

計画全体の見直し

素晴らしい目標を更に推し進めた実施計画にならないければ希望の持てる町には程遠いのではないのでしょうか。その時々々の環境、状況に応じ多少の修正などは必要です。また、この計画から大きく外れることのないよう推し進める事も重要

再質問

再質問

再質問

再質問

来町者への案内・誘導について

来町者への案内・誘導について

来町者への案内・誘導について

来町者への案内・誘導について

来町者への案内・誘導について

町長答弁

町長答弁

町長答弁

町長答弁

町長答弁



耐震化予定の社会福祉センター

町長答弁

町長答弁

町長答弁

町長答弁

町長答弁

きましては、各施設へ効果的に案内していくため、各道路管理者等との協議により必要な措置を講じていきたい、と思います。旭ヶ丘森のガーデン等への案内標識につきましては、統一デザインによる施設名・距離数を明記しました標識を一定距離で設置し、わかりやすく案内することとしており、今後、他の施設案内も早急に進めていきたいと思っておりますので、ご理解をお願いします。

再質問

観光シーズン前に設置していただきたい

町外から来られる方々の目的にあった案内・誘導が必要になっていると思います。旭ヶ丘地区のオープンにも併い町内への誘導策をも含めた政策としてできる限り観光シーズン前に設置を終了するぐらいのスピードで臨んでいただきたい。

再答弁

車の目線で目立つ看板を早急に作りたい

大事なものは、車で入って来るお客さんが多いですから車の目線で目立つような看板を早急に作っていききたい。

退職する職員の補充は

安部 議員



(安部逸雄議員)

今年度、早期退職を含め10名の職員が退職し専門職2名及び新規採用3名と伝え聞いておりますが住民サービスは勿論、職務遂行並びに労働環境に悪影響が出

ないのか伺いたい。

町長答弁

住民サービスの低下や業務に支障を及ぼさないように対応したい

上川町における定員管理は、厳しい行財政環境のもと現状分析等を行った上で、事務事業の見直し、組織・機構の簡素合理化、民間委託等の活用等、スクラップアンドビルドの徹底を図り、定員管理の数値目標を着実に実行しつつ、適宜、見直しを行い、常に定員規模の適正化に向けた取り組みを行ってきているところであります。今年度退職者につきましては、お尋ねのとおり一般職・専門職合わせ10名が定年、早期退職する予定であります。

職員退職辞令交付式



このうち、看護師・保育士の専門職2名につきましては各施設の業務等を勘案し、平成24年度採用により補充致したところであり、一般職8名につきましては各課における業務の見直し、グループ制の効果的な運用と、新規採用3名及び組織機構の再編による参事職廃止などに対応していくこととし、住民サービスの低下や業務に支障を及ぼ

さないように対応していくこととしております。また、今後の職員採用にあたっては、将来的な退職者数を考慮しながら、業務の効率化・一部事業の見直しなどを取り組み、適正な職員配置を目指し計画的な職員の採用を行っていきたいと思っておりますので、ご理解をお願いします。

フツ化物洗口は十分な議論をつくしたのか

安部 議員

今年度、小・中学校にフツ化物洗口を行う計画を持たれていますが、過去にも質問しましたが安全という推進側と危険とする反対側双方の溝が埋まったという認識は現在も私はもっていません。

今年度導入する事は、どのような状況の変化なのか明確な理由を聞かされたい。

教育長答弁

保護者に対し説明会を実施し、充分な理解を得て、希望者に対し実施する



(原 邦男教育長)

フツ化物洗口については、国の「健康増進法」に係る具体的計画である「健康日本21」において、フツ化物洗口の普及、さらに北海道が制定した「北海道歯・口腔の健康づくり8020推進条例」では、北海道は幼児・児童及び生徒に係る歯・口腔の健康づくりの推進を図るため、学校等におけるフツ化物洗口の普及その他の効果的な歯科保健対策の推進に必要な措置を講じるものとされており

口が実施されております。また上川管内市町村のフツ化物洗口の実施状況は平成24年度に旭川市、富良野市、名寄市をはじめ9市町の小中学校の全校または一部学校で実施、平成25年度は3町で実施が予定されている状況にあります。さらに、昨年、平成25年度上川小学校新入学児童の保護者にフツ化物洗口実施についてのアンケート調査を行った結果、90%近い保護者が小学校においても実施の継続を希望しているところでもあります。この様な状況から、フツ化物洗口は国及び北海道において安全性が確保されていること、各家庭においてフツ化物洗口の継続実施が困難な家庭環境にある児童生徒に対してでも学校で実施すること、家庭環境の差によることなく歯・口腔の健康推進が平等に享受できる

口が実施されております。また上川管内市町村のフツ化物洗口の実施状況は平成24年度に旭川市、富良野市、名寄市をはじめ9市町の小中学校の全校または一部学校で実施、平成25年度は3町で実施が予定されている状況にあります。さらに、昨年、平成25年度上川小学校新入学児童の保護者にフツ化物洗口実施についてのアンケート調査を行った結果、90%近い保護者が小学校においても実施の継続を希望しているところでもあります。この様な状況から、フツ化物洗口は国及び北海道において安全性が確保されていること、各家庭においてフツ化物洗口の継続実施が困難な家庭環境にある児童生徒に対してでも学校で実施すること、家庭環境の差によることなく歯・口腔の健康推進が平等に享受できる

上川小学校入学式の様子



近年、地球規模の温暖化が進み、全国的に異常気象、ゲリラ豪雨が発生し、大きな災害が各地で起きています。上川町も例外ではなく、今までにない様な集中豪雨が発生し、高原温泉への道路などに大きな被害が起きています。また、市街地とその下流域でも、所

近年発生している集中豪雨対策について

溝口 議員



(溝口久男議員)

どころ増水による冠水被害が発生しています。被害箇所は毎回だいたい、同じ場所と思われれます。自然災害はいつ来るかわかりません。再び、同じ被害に合わないよう、また住民の不安を取り除くためにも速やかな改修を進めるべきと考えます。また執行方針の中で、雨水対策の実施に向けた雨水管渠詳細設計を行うてまいりますと有りますが、その内容について伺いたい。

町長答弁

関係機関とも協議を進めながら実施可能な箇所から改修を行いたい

高原温泉道路につきましてはご承知の通り国立公園内の道路であり、環境省としましては極力自然を残した形での存続が望まれております。しかしながら、町といたしましては重要な観光拠点であることから、安全を確保することも重要と



集中豪雨による被害の様子

線のJR踏切より国道までの雨水管渠詳細設計を行い、平成26年度雨水管渠整備工事の実施を計画しているところがございます。また、他官庁及び土地改良区とも協議を進めながら、実施可能な箇所より改修を行ってまいります。

他水路にも分散することが基本と思えます。また、整備にあたっては下流から整備するのが基本と考えますが、設計にあたって基本的な考えをお伺いしたいと思います。

再答弁

国道に集中する水は分散し、雨水を受ける細い管に加え太い管を入れたい

至ったところは大きな問題なんです。今後、関係機関と協議もしますが、可能であれば町が単独でも水を抜くような対応もしていきたいと思っております。市街地の問題については、東2丁目線の跨線橋の整備によって多少なりとも雨水対策は出来ているんですが、東4丁目線のところで、踏切の横断管が450ミリの細いものなもので、すから、とても上流からくる雨水を受けられる状況にないですね。それが下流に向かつて大きな影響を及ぼしていますから、今の450ミリのを活かしながら併設して1000ミリあるいは1500ミリ位の管をもう一本入れるよう、関係機関と協議をしておりますので、これもできうればここで、3年の間に対応したいというふうに思っています。その設計を今年やるということですので予算措置をさせていただきまますので、ご理解をお願いいたします。



(笠間法考議員)

スポーツ少年団の指導員の確立について

笠間議員

私からは以前スポーツ振興の充実について質問しましたが、今回はスポーツ少年団の指導員について伺いたいと思います。

今シーズンのスキー競技も終盤戦を迎え、今年も昨シーズン以上に梨沙羅選手が大活躍され、上川町にも大変明るく期待感も大きく地域住民の皆様も一丸となり応援し、ジャンプ少年団にも良い刺激になり、梨沙羅選手を目標に日々練習に励み少年団の増員も期待される中、現在ジャンプ少年団には指導員が不足し、今

考えております。新年度予算において、道路調査費及び概略設計業務予算を計上させていただきます。早期に危険個所の解消を図っていきたくと計画しております。

再質問

設計にあたって基本的な考えをお伺いたい

今後、設計・施工にあたって下流地区での冠水被害を防ぐためにも1水路に雨水を集中するのではなく

分散すること、改良区でやっていただけるところです。それから根元のところでの分散も対応していきたいですし、それから国道に

分散すること、改良区でやっていただけるところです。それから根元のところでの分散も対応していきたいですし、それから国道に

は少年団の親が指導されている現状ですが、子供達が卒業を迎えると共に指導に当たっていた親も離れてしまふ現状であります。そこで私は教育委員会として指導員を配置しスキー競技への強化を図って行くべきと考えます。何故なら我が町上川から 梨選手がオリンピックに出場し、メダル獲得となれば3人の出場者、2人のメダリストが上川町から輩出される事になります。原田雅彦氏、 梨沙羅選手の後を育て無くても良いのでしょうか。私は下川町や余市町の様に教育委員会が指導員を配置すべきと考えます。現に東京上川会の方々からも後に続く選手を育成してほしいと多額な寄付を頂き今年もナイター照明も設置し、出来る事は是非支援して行きたいとの言葉も頂きました。私はまず民間からの恒久的な指導員は厳しいと判断し、今後の為に教育委員会として指導員を招き、後に続く選



梨沙羅選手の美しい飛翔

手の育成に当たるべきではないのかと思うのですが、教育長の考え方を伺いたいと思えます。

教育長答弁

他スポーツとのバランスもあり、当面は地域の指導者の発掘や養成を行う

ご承知のとおり今シーズン、 梨沙羅選手は世界ジュニア選手権二連覇をはじめ、ジャンプ女子のワー

ます。このことは選手の優れた能力や努力はもちろんです。こうした陰にはいつも地域の指導者が熱い指導をさせていただいている賜であり敬意を表するとともに感謝いたしております。こうしたことから教育委員会では現在、スポーツの振興や選手の育成を図るためスポーツ推進委員8名、スポーツ指導員28名を委嘱して陸上をはじめ野球、剣道、スケートなど様々なス

スポーツの指導にあたっては、ポーツの指導にあたっていただいております。ジャンプ競技は3名の指導員を委嘱しておりますが、勤務終了後や屋外での指導でもありご苦労も多いと伺っております。ご指摘のとおり余市町や下川町のように元競技選手に指導にあたっていただいている市町村もありませんが、本町においては他スポーツとのバランスなどについてもありますので当面は地域の指導者の発掘や養成を行いながらスポーツの振興を図っていく考えでありますのでご理解をお願いします。

平成25年第1回上川町議会(定例1)は3月4日から会期を15日間と決定し、平成25年度一般会計ほか8会計に係る予算や条例の制定、平成24年度一般会計ほか7会計の補正予算、大雪高原旭ヶ丘交流施設に係る指定管理者の指定など48議案が審議され会期前の15日に閉会となりました。主要内容については次のとおりです。なお、ここに掲載された内容に係る採決の結果についてはすべて、全員賛成で可決しております。

付託議案

大雪高原旭ヶ丘交流施設条例の制定については、産業福祉常任委員会に付託

平成25年度一般会計ほか8会計予算については、予算審査特別委員会に付託することに決定し、同委員会は議長を除く10人の議員で構成され、互選により同委員長に遠藤和男副議長、同副委員長に大西裕議員が選出されました。

町議会

審議結果

3月定例会

条例の制定

委員会審査報告については、議案第77号 上川町指定地域密着型サービスの人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について、議案第78号

条例等の改正

上川町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の制定について、議案第79号 上川町道路の構造の技術的基準等を定める条例の制定について、議案第80号 上川町高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に係る道路の構造に関する基準を定める条例の制定について、議案第2号 大雪高原旭ヶ丘交流施設条例の制定についてをそれぞれ、笠間法考産業福祉常任委員長から

ら全会一致で原案のとおり可決すると決定したとの報告

上川町新型インフルエンザ等対策本部条例の制定については、「新型インフルエンザ等対策特別措置法」が平成24年5月11日公布されたことに伴い、対策本部の設置が義務化されたことから本条例を制定

法の一部を改正する法律の施行により関係する条文の整備

過疎地域自立促進のための固定資産税の課税の特例に関する条例の一部を改正する条例については、過疎地域自立促進特別措置法の一部を改正する法律が平成24年6月27日に公布されたことに伴い、課税免除の適用期間を5年間延長し、平成33年3月31日までに改めるもの。

上川町印鑑の登録および証明に関する条例の一部を改正する条例については、公共事業の協力者の利便性及び事務の効率化を図るため国及び地方公共団体等が公用等のため印鑑登録証明書の交付申請する際の手続き等に関する規定の整備並びに条文の整備をするもの。

上川町道路占用料徴収条例の一部を改正する条例については、道路法施行令及び道路整備特別措置法施行令の一部が改正されたことに伴う条文の整理及び別表の改正をするもの。

上川町営住宅管理条例の一部を改正する条例について（公営住宅法の一部改正）、上川町都市公園条例の一部を改正する条例について、上川町公共下水道条例の一部を改正する条例について（下水道法の一部改正）、上川町水道事業給水条例の一部を改正する条例について（水道法の一部改正）、以上4条例の改正については、「地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律」の施行に伴いそれぞれ

それぞれ関係する条文の改正、文言の追加および整理 上川町議会委員会条例の一部を改正する条例について、上川町議会会議規則の一部を改正する規則について、上川町議政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例については、地方自治法の一部を改正する法律が平成24年9月5日に公布されたことに伴って町の関係条例等の一部を改正するもの。

補正予算

平成24年度一般会計補正



（川上隆士議長）



緊張感漂う議場

予算（第9号）については、歳出では、事業確定などに伴う整理予算と各施設の暖房用燃料の高騰による補正増、介護老人保健施設事業特別会計への繰出金の増、国の補正に關連して福祉会館耐震補強工事費・駅前団地C公営住宅建設工事費の補正、歳入では、町税の収納見込みを勘案した補正減、事業関連の国庫支出金の増、道支出金の減、町債の増、前年度繰越金の減額をし収支の調整を図る。繰越明許費において、既決予算の旭ヶ丘地区活性化事業、層雲峡消防庁舎建設事業他及び今回の国の補正関連事業2件などで、年度内に完了できる見込みがないための補正。地方債において、各事業の確定及び交付金等特定財源の増減に伴い変更補正を行うもの。

国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号）については、歳出において事業執行残及び事業確定に伴う予算整理と診療所特別会計

広域連合納付金の減額、後期高齢者医療保険料の減額補正 介護保険事業特別会計補正予算（第3号）については、歳出において事業執行残及び事業確定に伴う予算整理とサービス利用者の減による補正、歳入において国・道支出金の増減額、支払基金交付金の減額、前年度繰越金増額などの補正 上川町立診療所事業特別会計補正予算（第4号）については、決算見込みを勘案した予算整理と一般会計繰入金金の減及び国保会計繰入金金の増、前年度繰越金の減などの補正 上川町立介護老人保健施設事業特別会計補正予算（第4号）については、入所者数の減などによる決算見込みを勘案した予算整理と介護給付費収入の減、一般会計繰入金金の増、前年度繰越金増額などの補正 公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）については、歳出において事業執行

行残及び事業確定に伴う予算整理、歳入において下水道事業債の減及び一般会計繰入金金の減額補正 上川町水道事業会計補正予算（第3号）については、歳出において事業執行残及び確定による予算整理、歳入において水道使用料他での減、一般会計補助金の増

選任同意

固定資産評価審査委員会委員の選任については、3月15日をもって3年の任期が満了となることから、新たに藤田 浩氏を委員に選任するため議会の同意を求めらるもの。

予算

委員会審査報告については、予算審査特別委員長から平成25年度一般会計ほか8会計予算について原案どおり可決すべきものと決定、と報告

契約の変更

上川町地域資源活用交流促進施設整備（レストラン棟建築主体）工事請負契約の一部変更については、条例により議会の議決を得た

指定管理者の指定

大雪高原旭ヶ丘交流施設に係る指定管理者の指定については、特定非営利活動法人旭ヶ丘（NPO）に管理指定

まちの議会を
傍聴してみませんか

次の定例会は
6月中旬開催予定です。

問い合わせ先
議会事務局
☎2-4064(直通)

上川町の節電対策について

質問

平成24年9月定例会

他の自治体の取り組みの中に防犯灯と街路灯のLED化を進めているところがあり、間違いなくかなりの経費節減と節電に貢献できるものと考えますが、どのようにお考えか。

町長答弁

新たにLEDの導入なども積極的に検討を行い、公共側が担う節電対策は年次計画をもちながら継続した取り組みをしていく。



そして、こうなった!

地域安全対策予算の「町内防犯灯LED化更新事業補助金」として平成25年度一般会計予算に8,830千円が計上されたほか、交通安全灯等の破損に伴い順次LED化する修繕予算が予算審査特別委員会を経て本会議(平成25年3月定例会)において、全員賛成で可決されました。

豆知識: LEDとは、発光ダイオード(Light Emitting Diode、LED)は、順方向に電圧を加えた際に発光する半導体素子のことである。

高齢者が街中で「憩える家」づくりについて

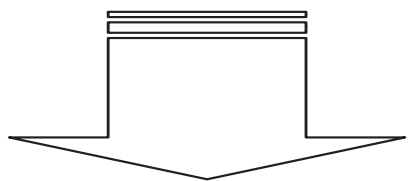
質問

平成23年12月定例会

高齢者が集い、軽食を楽しんだり、趣味の作品を持ち寄って展示や即売をしたり、庭の花や野菜を育てた方との売買などお互いに楽しみや生きがいを感じ合い、それを手助けするサポーターグループが運営できる「憩える家」ができれば人も街中も元気になり、活気溢れる街づくりができるのではないかと。

町長答弁

空き店舗なども上手く活用し、サポーターグループの皆さんからも提案や知恵もいただき、工夫もお互いにしながら機能強化に向けて取り組みたい。



そして、こうなった!

老人福祉予算の「まちなかサロン事業」として平成25年度一般会計予算に1,699千円が計上され、予算審査特別委員会を経て本会議(平成25年3月定例会)において、全員賛成で可決されました。

第3弾

一般質問のその後を追跡 あれから、こうなった!!

紙面冒頭で毎回掲載している一般質問は、議員が町の行財政について事務の執行状況や将来に対する方針等について説明を求めるもので、それに対し町長や教育長からは調査・検討するなどの答弁をいただいております。そこで、「あの一般質問の後、どうなったのか」といった疑問をお持ちの町民の皆さまに対し、「あれから、こうなった」と、わかりやすくお伝えするこのコーナーも昨年の146号(7月発行)から開始し、第3弾となりました。今回は、2名の議員が行った一般質問その後の結果について、左記のとおり紹介いたします。

予算審査特別委員会審議結果

《予算審査において行われた質疑のうち総括質疑の一部を紹介します。》

質 疑	回 答
① 命の大切さや命を育てる、人づくりの意味で小学校の花壇を子供たちも草取りや水やりなど関わる時間をつくってはどうか。	学校支援ボランティア登録されている方々と一緒に子供たちとの触れ合う機会を設けることも必要であり、ボランティアでお願いすることも考えていきたい。いろんな人の力を借りながら「豊かな心」を育成していきたい。
② 地熱開発の推進について	地表調査に始まり、環境アセスや許認可手続きなど事業の実施に向けては通常10年かかると言われているが、何とか7～8年ぐらいでやりぬくような思いで進めたい。
③ 公営住宅の廃止・撤去で空き地が増えているが、この空き地対策の考え方について伺いたい。	新しいアパートの需要はかなりあり、町としては必要であれば空いている町有地は活用してもらうことも含め今後考えていきたい。
④ 旭ヶ丘の観光ルートと合わせながら、エスポワールの鐘から上川公園までの道を作れないか。	一車線であれば可能か。ぜひ、旭ヶ丘と市街地と上川公園、エスポワール付近を結び付けることをホスピタリティと併せて進めていきたい。
⑤ 高校の二間口対策について	大きな問題であるので、議会等とも検討・協議し進めていきたい。

意見書の提出

自治体財政の確保と地方分権の確立を求める意見書

提出者 安部逸雄 議員

T P P 交渉参加断固阻止に関する意見書

提出者 川村都子 議員

【提出先】衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、内閣官房長官、総務大臣、財務大臣、農林水産大臣、外務大臣、経済産業大臣、内閣府特命担当大臣(経済財政政策担当)

委員会等の動き

産業福祉

平成25年1月16日 付託
事件調査

議案第77号 上川町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について、議案第78号 上川町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の制定について、議案第79号 上川町道路の構造の技術的基準等を定める条例の制定について、議案第80号 上川町高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に係る道路の構造に関する基準を定める条例の制定について

今回の条例制定に当たっては、多くの条文において、上川町の実情において国の基準を上回る内容または異なる内容を定めるほどの特段の事情、地域性は認められないので、原則として、国の基準に基づいて制定するものである。ただし、一部の参酌すべき基準の項目について、町独自の内容を盛り込み、地域密着型（介護予防）サービスのさらなる質の向上に努める

今回の条例制定に当たっては、上川町の実情において、国の基準を上回る内容または異なる内容とする特段の事情あるいは地域性が認められないことから、原則として多くの条文において国が定める基準とほぼ同様の内容で制定するものであるとの説明を受けた。

この条例は、旭ヶ丘地区の優れた自然や風景を活用した体験滞在型の交流を図り、農業、商業、観光業の連携をより一層推進し、上川町の産業振興及び雇用促進を図るとともに地域の活性化に寄与することを目的とし、施設、管理、指定管理者による管理等・業務、開業期間及び時間、休業日、利用料、入園料、使用料、使用等の許可、使用許可の取り消し等、指定管理者の収入、行為の禁止等を定めたとの説明を受けた。委員から、エリア全体の防犯対策・迷惑行為等に対す



産業福祉常任委員会の様子

定した。平成25年3月12日 付託 事件調査 議案第2号 大雪高原旭ヶ丘交流施設条例の制定について 平成25年3月4日に開催された第1回町議会（定例1）において当委員会に付託された後委員会を開催し、執行者側に内容の説明を求めた。

る対応と併せて、農作業への支障とならないよう対策について検討が必要との意見が出され、執行者側から、十分検討し対応するとの回答を得た。

設の住宅で老朽化が著しく急傾斜地に位置し防災上問題の場所であり、建て替えをする場合別敷地に建設しなければならぬが、層雲峡地区には適地がない。現在の入居戸数は10戸である。

総務文教

平成25年2月21日 所管
事務調査

（1）陸万地区町有住宅の取得について

平成24年4月1日現在で13団地350戸の町営住宅を管理している。内、層雲峡団地に16戸、陸万団地に16戸を管理しており、上川町公営住宅ストック総合活用計画」では、両団地は用途廃止住宅と位置付けられている。理由としては、層雲峡団地は、昭和41年建

また、陸万団地は、昭和45年建設の住宅で老朽化が著しく入居希望者もなく、現在の入居戸数は5戸である。層雲峡地区の雇用状況からして、同地区に公営住宅は必要不可欠であると判断している。このことから当該住宅を平成25年度予算で取得し、住環境の向上を図りたいとのことである。

施設の概要

土地 2524.64㎡
（5筆）
建物 共同住宅 RC
造陸屋根2階建て 1LDK4戸、2LDK6戸、581.90㎡



町有住宅に予定されている住宅

車庫機械室 RC造陸屋根平屋建て 175.03㎡
契約の相手方 旭川市6条通り4丁目右9号 西野目産業株式会社
取得価格 2700万円(消費税込)
リフォーム(壁クロス、畳表替え、給水・給湯設備等)費用込
以上説明を受けた。

（2）旧日赤分院跡地購入に係るその後の経過について 前回（11月30日）の総務文教常任委員会において説明を受けた、その後の経過について、次のとおり内容説明を受けた。

前回までの経過では、町の提示額（更地価格3220万円解体費用）をもって日赤本部と協議し最終決定することであった。その後、12月17日に日赤本部との協議結果について連絡があり、町提示額・内容について概ね理解された旨の報告があった。併せて町において、建物解体に係る業者見積りをもう1社取ってもらいたいとの依頼があった。



旧日赤分院

翌日の12月18日に、電話連絡があり、アスベストの有無については、調査を行いたい、併せてポイラー撤去に係るダイオキシンの問題については、もし有れば日赤側で処分したい。さらに、PCBについては、既に回収済みである旨の連絡があった。その後年明けの1月7日に連絡があり、日赤側としての現段階における考え方が示された。その内容は、

アスベストについて、処理業者に相談したところ調査費だけで200万円程度、ダイオキシンの調査が10万円程度かかり、さらにもし有ればかなりの処分費がかかることから、上川町と協議してきた内容について、改めて考え方を内部で検討したいということであった。

また、建物解体についても、日赤側で行うことも検討しており、さらに、土地を一般公募により売却していくことも検討している旨の報告があった。

1月28日に、日赤より依頼のあった、解体費の業者見積書写しを渡し協議を行っている。日赤側としては、今回の業者見積りを参考に、内部で再検討したいので時間をほしいとのことであり、現段階に至っていないとの説明を受けた。

(3) その他
上川町東町在住中山 修氏より寄付を受けた宅地・畑・雑種地・原野地で当初

予定面積と大きく変更になったことからその内訳について報告がなされた。

議会運営委員会

平成25年2月28日
平成25年第1回町議会（定例1）の運営について
平成25年3月12日
議会再開以降の議会運営について

旭ヶ丘地区活性化事業に関する調査特別委員会

旭ヶ丘地区活性化事業に関する調査特別委員会

平成25年1月31日

(1) 旭ヶ丘地区活性化事業について
センターハウスの実施設計について
NPO法人の収支計画について
コテージ備品について
大雪高原旭ヶ丘交流施設条例（案）の概要について

平成25年2月21日
(1) 旭ヶ丘地区活性化事業について
財政シミュレーションについて



センターハウス鳥瞰イメージ

(オープンを待つレストラン)

全員協議会

平成25年1月31日
(1) 層雲峡振興公社の解散手続きについて
(2) 上川中部消防組合の広域化について

議会広報特別委員会

平成25年3月28日、4月16日
議会広報149号の編集について



(霧気のあるコテージ)

政務調査活動『2012地方議員向けサマースクール』参加報告

久米 得正 記

地方議会改革・活性化の現状と課題

北海道大学公共政策大学院主催によるサマースクールが開催され受講の機会を得、参加して参りました。受講者は昨年の2倍以上に上る42名の方で、道議3名、市町村議36名、議会事務局局長2名、会社員1名という顔ぶれです。今回の主要テーマは「地方議会改革・活性化の現状と課題」ということで、例年通りグループに分かれてのワークショップ形式で行われました。受講者どうしの議論を深める為、事前学習が義務付けられており準備に一苦労ありました。初日、13時、開講オリエンテーションに続いて、「これからの地方議会改革」と題して、山崎幹根教授の講義を受けま

した。議会改革に対して住民と議員間の認識にタイムラグのあること。情報公開に対する不断の努力、一層の情報公開。住民説明会の開き方、等々改革における問題点、注意点について分かり易いお話しでした。次に、高沖秀宣氏から「地方議会改革の現状と課題 事務局職員の立場から」と題して講演を受けました。現在、全自治体数(1789)の14・5%に相当する260の自治体で議会基本条例が制定されていて(2011年末時点)、今年中に300以上が視野にこのことです。半面、理念の希薄化の動きもあり制定するだけでなく中身が肝心の指摘も。その他、議会運営面においても身近な提言をいただきました。屋外で記念写真を撮った後、

3講目「議会基本条例制定のピフォー・アフター」と題して福島町議会議長の溝部幸基氏より講演をいただきました。冒頭、福島町特産の「するめ サキイカ」と「昆布」を記念にいただき、眠気防止にサキイカを食べてくださいとのユーモラスな挨拶と共に90分間に亘る熱の入った講演でありました。議会改革の先にある自立分散型の地域主権社会実現の為に心がけるべき点、国や道への依存体質の脱却。厳しい地域間競争を踏まえ、住民の理解を得ながら自らが先行モデルとして、失敗を恐れず自らの道筋をしっかりと考えて、実践して行く。行政、議会、そして住民がきちんと理念を共有する。自らの町の事例を紹介しながら聴衆を引き付ける迫力のあるお話しでした。その後、道内地方議会へのアンケート調査結果報告が事務局から有り小休止。18時、軽食と飲み物が用意されて受講者の

グループ討議と発表

自己紹介が和気あいあいの中で行われ19時、初日の日程を終了しました。
2日目、9時に集合して、6、7名の6グループに分かれました。グループそれぞれ課題について討議をし、現状、課題、解決策について探っていきまします。私達の課題は、「住民参加による地域課題の発見と共有」です。メンバーは、芽室町2名、長沼町、白老町、沼田町、上川町の各議員と札幌市の会社員1名の計7名で互いに名刺交換の後、早速本題に入りました。それぞれの議会の実態を背景に意見を述べるわけで、どの意見にも傾聴に値する物がありました。たくさんさんの現状が出て、又、課題も多種多様で解決策がまとめきれない。喧々諤々(けんけんがくがく)の討論も12時までの時間切れで一応まとめに入りました。午後からは各グループの発

用語一口メモ
「議会基本条例」とは
議会基本条例は、地方議会の運営をどのように行うのかを定めた条例。2006年(平成18年)5月18日に施行された北海道栗山町の「栗山町議会基本条例」が最初と言われている。

議会の主な動き

- 1月16日 産業福祉常任委員会
- 31日 旭ヶ丘地区活性化事業調査特別委員会
全員協議会
- 2月1日 上川中央部市・町議会定例議長会議
(美瑛町)
- 21日 総務文教常任委員会
旭ヶ丘地区活性化事業調査特別委員会
- 22日 上川町村議会議長会定期総会
(旭川市)
- 28日 議会運営委員会
- 3月4日 平成25年第1回町議会(定例1)開会
- 12日 議会運営委員会
産業福祉常任委員会
- 14日 議会再開

- 15日 予算審査特別委員会
予算審査特別委員会
議会再開
- 27日 山形県議会県政クラブ行政視察
- 28日 議会広報特別委員会(第1回)
- 4月1日 町人事異動で中野俊和氏(旧産業
経済課長)が議会事務局長に異動
- 16日 議会広報特別委員会(第2回)



新局長の中野俊和です。よろしくお願います。

議会傍聴アンケート結果報告

3月14日に再開した平成25年第1回町議会(定例1)に14名の傍聴があり、アンケートを実施したところ3名の方から回答をいただきましたので、下表のとおり報告いたします。

項目	感想	議会や議会広報に対する意見等
回答者	<p>①良かった点 ②悪かった点 ③気のついた点</p>	
男性・72歳 女性・78歳 女性・40歳代	<p>① 議論が大変わかりやすかった。 町長が議員の意見に対して良い所を認める発言をした所。ただ、役場の町民に対する態度(受付だけには限らないということなど)に対する認識に町民とギャップがあるように思う。また、ご理解願いますというメの言葉として多用しすぎて違う言葉に置き換えるとより伝わると思う。議員の方々も熱意ある質問をされていると思う。それは生で見ないとわからない所だと思う。</p> <p>② 議員さんの質問に対して理解がなされない。 第9次上川町総合計画はかなり甘い計画に思え、もっと細やかな戦略とそれ以上に町民に浸透させることが必要に思う。実施した事業もどこを良くしたのか、どういうことにつながっているのか、町民に伝えるべきと思う。 (回答)担当課に伝えました。</p> <p>③ 議員諸士の熱気が感じられて非常に良かった。 特に第9次総合計画、町内の案内看板、スポーツ指導員については、今後も注目していきたい。早急にと町長が明言した案内・誘導看板はセンスの良いものでお願いしたい。ホスピタリティは来町者だけでなく、どの職種もまずは町民同士の思いやりのある接し方から育つのではないか。</p>	<p>1人1人の質問の予定時間を目安として入れてほしい。前号の議会広報で再質問を入れてもらえてよかった。(再々質問は残念ながら紙面が増えすぎのせてもらえませんが、より興味を持って傍聴者が増えてもらえればよいと思います。)議決で賛否を公表してよかったが、反対の意見が知りたいと思う。</p>
		<p>次回の町議会定例会は、6月中旬の予定です。 詳しくは、事前の議会傍聴チラシ(新聞折込み)でご確認ください。 (議会事務局)</p>